

ビジョン		～生き生きと元気に、心豊かに安心して～ 輝いて暮らせる健康長寿の阿賀町づくり			運営方針			【津川病院 2013院長シート】		
		・生き生き＝自立(社会的自立)と参加(社会参加)による、自分らしい人生の創造			阿賀町の急性期医療に貢献する					
		・元気＝健康づくりによる、質(満足度)の高い人生の創造			阿賀町の福祉保健医療との連携を図り、地域医療を実践する					
		・心豊かに＝地域の新たな結び合いによる、共生・共助の地域社会づくり			医療保険制度を遵守し医療経営の安定を図る					
		・安心して＝保健・医療・福祉の基盤整備による、安全・安心な地域社会づくり								
区分	経営シナリオ	目標	主の成果 (重要成功要因)	業績評価指針	H22 3月末 実績値	H23 3月末 実績値	H24 3月末 実績値	H25目標	アクションプラン	
顧客	地域医療モデルとしての阿賀町医療システムの構築 健康寿命の延伸 在宅医療のニーズに応える 患者満足度の向上	阿賀町における地域医療モデルの構築	阿賀町住民の健康寿命の延伸 在宅看取りのニーズに応える	阿賀町における新規要介護認定者数	244	302	360	200以下	要支援者および特定高齢者における医療的介入 地域支援事業など健康増進活動における医療的 在宅看取りへの環境改善 24時間体制の構築(連携) 阿賀町診療所の在宅療養支援診療所移行への 事務長を中心として行政区ごとに交渉開催する 研修医、コメディカルの参加を募る アンケート内容の検討、シンプルに繰り返し行う アンケート用紙の工夫 まず実患者数を増やすこと、さらに人件費削減に ついて検討	
		在宅医療のニーズに応える 患者満足度の向上	住民啓発活動	ナイトスクール開催回数	18	17	10	12回以上	研修医、コメディカルの参加を募る アンケート内容の検討、シンプルに繰り返し行う アンケート用紙の工夫 まず実患者数を増やすこと、さらに人件費削減に ついて検討	
財務	業収改善	業収改善	業収比率の向上	業収比率	67.5%	62.3	59.9%	70%以上	病棟業務および退院調整業務の効率化やシステム見直しが必要	
		新たな新潟県立病院機構の確立 県立病院間の連携 県立病院外組織との連携	県立病院間連携の強化 県立病院医師の応援診療回数(月当たり)	県立病院医師の応援診療回数(月当たり)	2	2	2	2以上	がんセンターなど県立病院からの応援診療のための環境作り 上記に対する待遇や保証の検討 県立病院外からの応援診療のための環境作り 上記に対する待遇や保証の検討 地域医療研修医の募集	
内部プロセス	安定した医療供給体制 研修医の確保 専門外来診療の充実 コメディカルの確保 へき地支援体制 機能を強化した在宅療養支援病院 へき地拠点病院	安定した医師供給体制	研修医の確保	地域医療研修医数	21	22	19	15以上	現在の14診療科の継続維持 診療所との連携による効率的診療 総合外来の立ち上げ(プライマリケア部門の確 病院局や組合を中心とした病院間の協力体制の 構築	
		初期救急医療体制の拡充	救急医療に携わる十分な人員確保 常勤医の過労防止	院長の当直回数(月当たり) 常勤医師の当直回数(月当たり)	0.2 2	0.8 2.8	1.9 3.5	2以下 4以下	院長以外の救急医療従事医師の増加 新潟大学および他の医療機関からの適切で適時な支援体制の確立 入院基準の見直し 入院ベッドの確保 医師当直拘束体制の維持 当直拘束における二人当直体制の強化 高次救急医療機関との連携強化(病病連携)	
		365日24時間体制の提供	365日24時間体制の提供	救急加算算定件数(月当たり)	285	250	220	300以上	救急患者搬送シェア	
		適切な病床管理	長期入院患者の減少	平均在院日数	13.1	13.7	14.0	15日以下	介護領域における地域ソースの確保と連携強化	
		実入退院患者数の増加	実入退院患者数の増加	実退院患者数	100	83	94	100以上	救急受入 在宅医療との連携 紹介患者の受入	
		急性増悪への早期対応	時間外救急搬入患者数の割合	64.0%	67%	69.6	50%以下	病病連携、病診連携、在宅部門および介護施設等との連携による綿密な病態把握と入退院の調 外来待合室での教育指導など 健康ファイル持参率で推測してみてください 阿賀町診療所からの訪問診療との合計 安定期は町で、不安定期は当院で		
		非急性期医療拡充への支援	自己(家族)管理指導	健康ファイルおよび連携ノート持参率	データなし	データなし	データなし	50%以上	町ステーションと当院の合計で 入院中の訪問看護ダブル導入の検討 町ステーションとの適切な役割分担と協力体制 非急性期外来診療は町へ 巡回診療への応援強化	
		在宅医療の推進と支援	訪問看護の推進と支援	阿賀町における全訪問看護患者実人数	256	240	229	200以上	患者情報の共有化 テレビ電話の活用	
		阿賀町との連携	阿賀町診療所への支援	阿賀町診療所への応援診療回数(月当たり)	12.2	11.4	10.2	8以上	診療所及び訪問看護ステーションとの連携強化 ケアマネや調剤薬局との連携強化 地域ケア会議での周知 MSWの常勤化によるネットワーク作り	
		阿賀町訪問看護ステーションとの連携強化	阿賀町訪問看護ステーションとのミーティング回数(月当たり)	1	1	1	4以上	10以上	すいすい勉強会講師輪番制 講義データの共有化 教育委員会の体制見直しによる系統化	
学習と成長	職員の経営参画	職員の経営参画	やる気のある職員数の増加	すいすい勉強会平均参加人数	24.3	24.5	24.1	30以上	管理職は積極的に勧める、勉強のできる環境作り、講習会への参加促進	
		職員専門能力とモチベーションの向上	専門制度、認定制度へのチャレンジ	各資格テスト受験者数	4	2	1	10以上	管理者は積極的に勧める、発表者へのバックアップ体制、発表者の還元	
学習と成長	すいすい勉強会 職員の専門能力とモチベーションの向上 研究発表支援	職員専門能力とモチベーションの向上	学会および研究会への発表	学会研究会発表者数(実人数)	7	7	2	10以上		